

子どもの甲状腺髄様癌、多発性内分泌腫瘍症(MEN)2型の実態調査および手術時期に関する研究のお知らせ

帝京大学医学部附属病院では以下の研究を行います。

本研究は、倫理委員会の審査を受け承認された後に、関連の研究倫理指針に従って実施されるものです。

研究期間：平成 29 年 10 月 4 日 ～ 平成 34 年 3 月 31 日

〔研究課題〕

本邦における小児期髄様癌、多発性内分泌腫瘍症(MEN)2型小児患者の疫学的調査および遺伝性甲状腺髄様癌摘出時期の検討

〔研究目的〕

日本でほとんど明らかになっていない小児期髄様癌、多発性内分泌腫瘍症(MEN)2型小児患者の実態を把握し、より適切な遺伝性甲状腺髄様癌摘出時期を明らかにします。

〔研究意義〕

適切な手術時期を明らかにすることで、再発リスクや手術合併症を減らせます。

〔対象・研究方法〕

●対象となる患者さん：

20歳未満で診断された多発性内分泌腫瘍症(MEN)2型/*RET*変異保有未発症者(遺伝子診断されたが腫瘍を発症していない者)/甲状腺髄様癌(*RET*遺伝子変異未検査または変異陰性)の方、患者さんの20歳未満のご兄弟姉妹で*RET*遺伝子変異未保有の方

●研究に使用する試料：

遺伝子検査・血液検査の結果などの診療記録

●研究の方法

過去の診療記録を用いて、必要な年齢、性別、診断時、手術時年齢、診断根拠となる遺伝結果、発症部位などの病歴、カルシニン値、甲状腺髄様癌の大きさ、転移の有無を調べます。これらの情報は匿名化され、日本の患者さんの情報としてまとめて解析され、適切な手術時期などが検討されます。

〔研究機関名〕

帝京大学ちば総合医療センター小児科、浜松医科大学小児科、大分大学医学部小児科、大阪大学医学部小児科、大阪府立母子保健総合医療センター小児科、沖縄県立中部病院小児科、国立成育医療研究センター分子内分泌研究部、慶応義塾大学医学部小児科、静岡県立総合病院遺伝子診療科、順天堂大学医学部小児科、新潟大学医学部小児科

〔個人情報の取り扱い〕

あなたから提供されたこの研究に関する情報は、匿名化され管理されます。匿名化された情報は、郵送により研究代表施設である浜松医科大学へ提供され、小児科 藤澤泰子により管理されます。提供された情報については研究機関名に挙げられた機関の研究担当者(※別紙記載)のみ利用します。

対象となる患者様で、ご自身の検査結果などの研究への使用をご承諾いただけない場合や、研究についてより詳しい内容をお知りになりたい場合は、下記の問い合わせ先までご連絡下さい。

ご協力よろしくお願い申し上げます。

問 い 合 わ せ 先

研究責任者：帝京大学ちば総合医療センター 病院教授 南谷幹史

住所：千葉県市原市姉崎 3426-3 TEL:0436-62-1211 (代表) [内線 2914]

提供した患者データを利用する者の範囲

共同研究機関

小児内分泌学会甲状腺委員会

国立成育医療研究センター研究所 分子内分泌研究部 研究員	綾部匡之
大阪府立母子保健総合医療センター 副院長 総合小児科主任部長	位田忍
大分大学医学部 小児科 教授	井原健二
静岡県立総合病院 遺伝子診療科 遺伝子診療科部長	臼井健
浜松医科大学小児科 教授	緒方勤
沖縄県立中部病院 小児科 部長	金城さおり
新潟大学医学部 小児科 講師	長崎啓佑
国立成育医療研究センター研究所分子内分泌研究部 基礎内分泌研究室室長	鳴海覚志
慶応義塾大学医学部小児科 教授	長谷川奉延
順天堂大学医学部 小児科 准教授	春名英典
国立成育医療研究センター研究所分子内分泌研究部 部長	深見真紀
大阪大学医学部 小児科 講師	三善陽子
浜松医科大学 小児科学講座 大学院研究生	松下理恵